● 評価書素案

都市再生緊急整備地域名		名古屋駅周辺・伏見・栄地域		
	上位計画、関連計画の位置づけ	都市再生に係る事業等	都市再生の効果の発現	特記事項
記載事項	【名古屋市総合計画2023】(令和2年4月策定) ○魅力と活力にあふれ、世界から人や企業をひきつける、開かれたまち ・強い経済力を基盤に、にぎわいと新たな価値を創出し、環境と調和した都市機能を強化します ○人が支え合い、災害に強く安心・安全に暮らせるまち ・災害から命と産業を守り、安心・安全な暮らしを確保します 【名古屋市都市計画マスタープラン2030】(令和2年6月策定) ○都市づくりの目標 ・歴史と未来の融合で磨くオンリーワンの体験空間 ・技術力と経済力で輝くグローバルな創造空間 【都心部まちづくりビジョン】(平成31年3月策定) ○方針 ・世界中から多様な人々を呼び込みイノベーションを創出するまち ・快適な都市空間に訪れる人々の賑わいが広がるまち ・ゆとりを楽しむ名古屋ならではの洗練された都市生活を満喫するまち	名古屋駅周辺地区では、都市再生特別地区と民間都市再生事業計画を受けたJRゲートタワー等の整備が完了した。今後は名鉄名古屋駅地区再開発が予定されており、現在は見直し検討が進められている。また、地下公共空間や、リニア開業を見据えた駅前広場整備等が予定されている。 伏見・栄地区では、テラスセ納屋橋や御園座タワー等の整備が完了し、都市再生特別地区と民間都市再生事業計画を受けた栄四丁目1番地区の事業も着している。今後も業務、商業、住宅等の整備が予定されている。また、公共施設整備として、久屋大通公園の北・テレビ塔エリアが供用開始され、残る南エリアの整備も予定されている。 ささしまライブ24地区では、市による土地区画整理事業(約22.1ha)が令和7年度完了予定で行われており、都市再生特別地区と民間都市再生事業計画を受けた業務、ホテル、商業等の機能を有したグローバルゲートが完成した。今後は公共施設整備として、広場や道路等の整備が予定されている。	・人口(地域内) 14,957人(H17)→15,059人(R3) ・地価(地域内) 280.0万円/㎡(H17)→848.3万円/㎡(R3) ・業務床延床面積(周辺地域を含む) 1,104,913坪(H14) →1,527,634坪(R2) ・宿泊施設客室数(名古屋市内) 18,849室(H14)→30,118室(R1) ・観光入込客延人数(名古屋市内) 5,317万人(H18)→7,299万人(R1) ・国際会議の開催件数(名古屋市内) 112件/年(H23)→252件/年(R1) ・国際会議への外国人参加者数(名古屋市内) 4,748人/年(H23)→9,646人/年(R1) ・外国人宿泊者数(名古屋市内) 441,255人/年(H23)→2,251,366人/年(R1)	
項目別評価	「名古屋市総合計画2023」において、世界に誇れる都市としてふさわしい都心機能・交流機能を高めるとされている。 「名古屋市都市計画マスタープラン2030」において、環境に配慮され、文化芸術を活かしたまちづくりや豊かな公共空間を活用した快適性の向上をはかるとされている。	都市開発事業や公共施設整備事業が進捗している。今後も複数の事業が計画されているほか、リニア開業を見据えた整備が進められる見通しである。	地価、業務床延床面積、宿泊施設客数、観光入込客延人数、国際会議の開催件数、外国人宿泊者数等において都市再生の効果の発現が認められる。	
総合評価	都市整備事業・公共施設整備事業が進捗し、整備の目標の実現が図られつつある。今後も、予定されている都市開発事業等について引き続き推進する必要がある。		⇒	地域指定を継続